



●馬庭恭子事務所 〒730-0051 広島市中区大手町2-5-9 TEL/FAX082-246-1907 ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp
●広島市議会議員控室 TEL082-245-2221 FAX082-245-2223 Maniwa-k@giin.city.hiroshima.jp

恭子の議会つれづれ

不適切な経理処理が発覚!!

昨年
年末の12月議会は、広島市の「不適切な経理」をめぐってケンケンガクガクの議論となりました。

そもそもの発端は、会計検査院による全国の都道府県と政令都市を対象とした国庫補助金の調査でした。なんと全都道府県・18政令都市（さいたま市は除く）に不適切な経理処理がみつかったのです。不適切といっても中身は色々。広島市では、私的流用はありませんでしたが「公金を使うべきではなかったもの」「購入は問題ないが、処理が不適切だったもの」など様々。いずれにしても不適切のそしりを免れるものではありません。

広島市は、この検査をきっかけに自主点検をした結果、過去8年分の不適切な経理の総額が8億6千万円だったと発表しました。そして約5千万円を市長以下係長以上の役職者が返還するという議案を提出したのです。

私がまず問題にしたのは、不適切な経理の総額算出方法です。平成16、18、21年

度3年分については聞き取り調査などで自主点検をしました。が、他年度については、調査した3年分から推測するという手法で点検を終えています。面倒な調査を怠ったといわざるをえません。

もう一点納得がいかないのは返還額の決め方です。前述の総額8億6千万円のうち、①卓球台などの明らかに不適切な支出約10万円は100%返還 ②公金での購入に問題はないが、現物が確認できないパソコンなどの物品代金約17万円は100%返還 ③翌年度納入、前年度納入など納入時期のみ不適正だった4億8千5百万円は、広島市へ損害は与えていないとして返還の義務なし ④支出は正当だが、手続きが不適切だった3億7千万円については、他都市と同様の10%返還、としました。合点がいかないのが④の10%の根拠が不明なことです。責任があるような、ないような・・・釈然としません。

過去6年間についてきちんと調査がされていないこと、10%

の根拠が不明なことから私はこの議案に反対しました。が、議会では可決され、市長の26万2千円を始め、副市長、特別職、局長から係長まで金額が指定され、返還されることになりました。

最後に指摘しておきたいのは、不適切な経理がみつかったにもかかわらず、多くの都道府県市では返還が行われていないことです。特に広島県にはなんの動きありません。それを追求する議員もいなければ、自主点検をしようとする知事もいないということです。不思議でなりません。このことを考えれば、私が指摘したような問題点をかかえているとはいえ、広島市が自主点検し、公表し、返還しようとした態度は行政の責任のとり方として評価できます。



市議会
ごぼれ話

「首長が何期もつとめるのはどうなのかしらと思う」と言う。「じゃ、議員は？」と逆に市民にただされました。確かに、多選だけでなく、代々続く家業のようになっている議員もいます。では、当選回数が少なく、若ければいいのかと言われると、もちろんそういうわけではありません。議員55人をこの4年間みてきましたが、本会議、委員会の正式な場で、一切発言のない議員が少なくとも3人います。また、だらだらと同じ質問

を繰り返したり、決定した事項をまるで自分が提案したような議会報告をする議員もいますが、市民は自分が投票した議員がそんな状況であることは知りません。私は、「うちの地域にひとり必要だから」と御用聞きのような地域密着型議員を選出することは、問題ありと思っています。必要なのは、市民のための政策を立案する能力、行政を監視する能力をもった議員です。もっと、議員の質をあげていく必要があります。市長が交代しても、議会を大掃除しなければ結局広島はよくなりません。

2010年 12月定例議会報告



● 議会基本条例に賛成し、成立しました

議会基本条例とは地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例です。議会ですら守らなければならない、いわば「憲法」です。全国自治体でそれぞれ制定が進んでおり、政令都市では広島市は4番目となります。私は、議員全員に条例原案の説明があった時に「政治倫理」の項目が必要ではないかと提案し、採用されました。「政治倫理」は第6条として制定され、

議員のあるべき姿を示しています。反対する議員もいて協議は難航しましたが議論の末、可決しました。この議会基本条例により予算委員会などがインターネットで公開されるようになりますし、会派によって市民に報告会を開くことも推奨されるようになりました。広島市議会がより開かれた議会になることが一番の成果といえます。

● 議員定数削減の実現へ



4年前の選挙から、議員定数は地方自治法で決められた上限数64人から55人に削減されました。昨年12月議会にも定数削減案を議員提案すべく調整していましたが、またまた、「慎重にすべき」「区別格差があるのでではないか」と意見がでて、結局、提出には至りませんでした。私は、2月議会で10人程度の削減を再度

提案できるかどうか、現在調整中です。議員の人数が多いほうが、市民の様々な意見を反映できるという考え方もありますが、財政が逼迫している現在、私は是非削減を実施したいと考えています。同じように報酬削減も必要だと思います。

● 議案質疑：子宮頸がん予防ワクチンの無料化について



子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんになる可能性を60～80%防ぐことができますが、自己負担額が5万円前後と高く、だれでも接種できるものではありません。今回1億円あまりの予算で中学校1年から高校1年の女子への無料接種が可能となりました。

◆ セクシュアルデビューが低年齢化しつつある昨今、小学6年生からの接種がより効果的であると思われませんが、なぜこの年齢にしたのですか？

【回答】対象年齢は国の方針に従って決定しました。他の多くの自治体も同じ対応です。

◆ このワクチンを接種しても子宮頸がんの検診は欠かすことができませんが、それらの知識をきちんと伝える方法はどのようにしますか？

【回答】学校においても、きちんと啓発活動はします。

《コメント》

いくら国の定めだからとはいえ、政令都市で自由に接種年齢枠を決めればよいと思います。性体験の低年齢化に伴い、例えば小学校6年生から接種すると、接種費用は210億円、がん化死亡数は73%～減らすことができ410億円の削減につながります。ワクチンを有効な年齢にしばって、早期接種することではじめて効果が出ると思うのです。

● 議案質疑：自立援助ホーム運営安定費助成事業について



自立援助ホームは、なんらかの理由で家庭にはいられない、原則15歳から20歳までの少年少女の暮らしの場です。軽度知的障害、軽犯罪を犯した児童が多くなっているという報告もあります。現在運営は助成を受けてNPOが行っていますが、大人との信頼関係を回復させるために、援助する大人は愛情をもって忍耐強く継続してかかわっていかねばなりません。

◆ ホーム職員の研修体制はどうなっていますか？

【回答】ケース検討会をはじめ、積極的に行政がかかわり、職員の研修をします。

◆ NPOの運営に第三者を入れてチェック体制を整えていますか？

【回答】補助金を交付するということもあり、運営内容・会計など行政でチェックできる体制を整えます。

《コメント》

子どもたちをとりまく環境は厳しいものがあります。唯一の“我が家”として健全な運営は必要不可欠です。NPOに任せきりではなく行政からも支援をゆるめないことが大切です。

常任委員会報告（建設委員会）

● 広島高速道路（2号線・3号線）の溶接部不具合について



広島高速道路(2号線、3号線)で溶接部に不具合が見つかりました。高速道路の安全性にかかわることですので、溶接がきちんとなっているかどうかは正確に検査しておくべきものです。匿名情報を受けた再検査で、2号線に10箇所、3号線に166箇所の傷が見つかりました。施工後、検査をした会社を調べると、

- * 溶接していた会社の系列会社であること
- * 無資格者による検査をしていたこと
- * 検査結果のデータを改ざんしていたこと

がわかりました。また溶接を請け負った会社は、2年前にも溶接不良で橋脚の疲労耐久性が不十分だったことがあり、指名停止になっています。私はきわめて悪質と判断し質問しました。

- ◆ 溶接する施行業者と検査会社が同じ系列会社にならないよう、別に発注することはできませんか？

【回答】次回から、発注方法を国土交通省と相談して検討する。

- ◆ 指名停止になった不良業者が安価な入札額で再度指名を受けることを防ぐために新たな工夫が必要だと思います。指名停止は、6ヶ月ではなく1年かそれ以上が妥当なのではありませんか？

【回答】要項に基づいて処分しておりますが…絶句…

決算特別委員会報告（厚生関係）

質疑

病院事業会計の運営について

地方公営企業法22条6では、市民の税金はきちんと管理して運用することが義務づけられています。そこで、広島市民病院、安佐市民病院、舟入病院、安芸市民病院の4病院の決算審議の際、広島市病院事業会計の預貯金86億円の運用方法をどうしているのか尋ねました。すると普通預金にしているとのこと。そのため、利息は定期預金より少ないのです。ちなみに水道局は約88億円を定期預金、国債などで運用し、年間運用益は定期510万円、債券1051万円の計1551万円となります。財テク会計ですね。病院事業でも、例えば半分定期預金にしておくとも普通預金より110万円の増益になります。

- ◆ 大きな金額ですので、利息がつく定期預金にしてはどうですか？

【回答】今後は、定期預金でも対応することにします。

〔その他〕常任委員会で「若者の就業体験事業」、決算特別委員会で「街路緑化」「市営住宅」について質疑しましたが、紙面上省略します。

議員視察旅行

建設委員会行政県外視察に行ってきました



北九州市
コミュニティーサイクル事業



鹿児島市
甲突川右岸緑地整備事業説明会



熊本市
観光推興計画・路面電車軌道敷の緑化説明会



建設委員会のメンバーとして、北九州市・鹿児島市・熊本市に出向きました。男性議員が多いなか、女性の視点でいつも視察をしています。芝生緑化は思った以上にコストや手間がかかるということがわかりました。私は広島市の電車の軌道緑化より、バリアフリーにコストをかける方が良いと判断しました。



8/6 原爆慰霊式 参列
9 県外視察 長崎
10 福岡
11 沖縄
18 安心社会づくり対策特別委員会
23 県外視察 さいたま市
24 仙台市
25 大阪市
26 鷹野橋バタバタ祭 青空市政報告・相談会
27 安心社会づくり対策特別委員会正・副事前協議
28 夜空市政報告・相談会
31 総合防災訓練 参観
9/5 子どもの貧困講演 参加
14 9月議会(市長説明等)
17 本会議(一般説明)
21 本会議(一般質問)
22 本会議(一般質問)
24 常任委員会(消防上下水道・文教・建設)
27 常任委員会(総務・経済環境・厚生)

28 本会議(議決等)
10/3 日韓フォーラム交流会 参加
11 白島町民運動会 参加
22 大手町女性会 参加
30 減らそう犯罪中区大会(青少年) 出席
11/4 新老人の会 参加
8 大都市財政改革委員会
11 ドミネーション点灯式 出席
12
13 平和サミット 参加
14
15 建設委員会行政県外視察 北九州市
16 鹿児島市・八代市
17 熊本市
19 建設委員会 ミーティング 出席
28 まにわ恭子を励ます会
29 決算委員会(説明会)
12/1 会派勉強会
6 不適正会計についての質疑

7 本会議
10 本会議
11 日本尊厳死協会中国地方支部 参加
13 本会議
14 本会議
19 高齢社会をよくする女性の会・広島 参加
22 安心社会づくり対策特別委員会
1/5 消防式 参列
6 安佐医師会互礼会 出席
13 全体会議
18 決算委員会
19 決算委員会
20 決算委員会
23 高齢社会をよくする女性の会・広島 がん行動マップ についての報告会
2/4 特別委員会
15 本会議
18 本会議
21 本会議

ニュースレターを
Eメールでもお送りします。

メールでの送付をご希望の方は、
まにわ恭子HP から
(<http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>)
直接メールでお申し込みください。

青空市政報告・相談

3月 16日(水)

13:30~15:00

タカノ橋商店街 バタバタふれあい広場
(中区大手町5丁目 商店街東側)



馬庭さんは議員活動のかたわら、いくつかの市民活動にもエネルギーに参加しています。その中の一つ「高齢社会をよくする女性の会・広島」でのお話。「いざ自分が、家族が、ガンとわかったらどうする？」の思いに、ガイドとなるような行動マップを作ろうということになりました。チームリーダーの馬庭さんはメンバーから出される「ガンと言われたときは途方にくれた。大きな病院で検査をと言われてもどの病院がいいのか分からず困った」というような、医療に関して素人の疑問や意見をじょうずに交通整理。馬庭さん自身は看護師であり、ガン経験者でもありますからこの道のエキスパートですが。「そういう点を出して下さる事がこのマップ作りには一番だいじ!!」とていねいに聞き取ります。私自身も、母が末期がんと告げられ、転院先、延命治療のこと、そのときそのときの決断に困り果てたこと、院内の相談室のアドバイスに助けられたこと等を話しました。こうしてプロのメンバーと全くの素人が知識や疑問を出し合った手作りマップが新聞で大きく取りあげられ、翌週から問合せの電話が続々と・・・自分の経験をお役に立てたい!という馬庭さん、「さあ、次は認知症と言われたときのマップを作りましょう」とパワー全開です。(高井)



まにわ恭子事務所

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-9
TEL&FAX 082-246-1907
E-mail ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp
<http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>